

県都デザイン戦略ワークショップについて

1 目的

- ・ 具体的な空間デザイン等は専門家が担うこととし、その前段となる「どのような活動」を行う空間とするかについて、県民・市民に意見を聴く
- ・ 「県都の将来的な姿」と、そのために「自分たちに何ができるか」という両面から、提案を出し合う

2 概要

- (1) 主催 福井県・福井市
- (2) 日時・場所 1回目：9/1（土）13：30～16：50 アオッサ会議室 601ABC
2回目：9/8（土）13：30～16：40 国際交流会館第1, 2会議室
- (3) コーディネータ 下川 勇 福井工業大学准教授（県都デザイン懇話会委員）
- (3) 進行 山下 善久 インターナショナルクラブ代表
- (4) アシスタント 各グループにアシスタント1名配置
- (5) 参加者 38名
 市内30名・市外8名
 男性26名・女性12名
 学生8名・その他30名
 [10代2名、20代16名、30代7名、40代2名
 50代5名、60代3名、70代2名、80代1名]
 1回目：34名・2回目：31名
- (6) グループ分け 5～6人 × 6グループ（A・B・C・D・E・F）
- (7) 今後の活用 事務局において整理して、懇話会で報告

3 テーマ

①福井城址および中央公園のあり方【A・Bグループ】

→ 「城址と中央公園でどのようなことをしたいか、自分たちは何ができるか」

②県都の玄関口としての駅周辺の空間デザイン【C・Dグループ】

→ 「美しい景観、歩きたくなる街など、県都としてどのような駅前が相応しいか、その実現のために自分たちは何ができるか」

③足羽山・足羽川の活用【E・Fグループ】

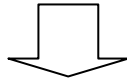
→ 「里山（足羽山）・水辺（足羽川）の自然や、愛宕坂・浜町の文化的な空間を利用して、どのようなことをしたいか、自分たちは何ができるか」

4 流れ

1回目

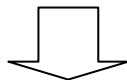
(1) 開会・趣旨説明 (10分)

- ・ワークショップのねらい
- ・本日のスケジュール
- ・参加ルール説明
- ・県都デザイン戦略検討状況説明



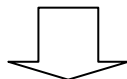
(2) 自己紹介 (25分)

- ・自己紹介
- ・飲み物争奪ゲーム (共通点探し)



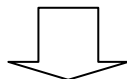
(3) テーブルワーク (40分)

- ・現状に対する思い→エリアの現状をどう思っているのか
- ・フィールドワーク準備→見て歩きのルートを考える



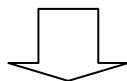
(4) フィールドワーク (まち歩き) (70分)

- ・各グループがフィールドワークを実施



(5) テーブルワーク (40分)

- ・現状を見て、どう感じたか、思ったよりも良かった点、改善する点といった点を話し合う



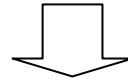
(6) 発表 (15分)

- ・現状を見て、どう感じたか、思ったよりも良かった点、改善する点といった点を話し合う

2回目

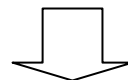
(1) 開会・飲み物争奪戦 (20分)

- ・最終目標を伝える
- ・アイスブレイク



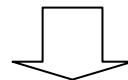
(2) テーブルワーク (40分)

- ・前回の振り返りと絞り込み
- ・2050年ビジョンづくり



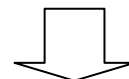
(3) ポスターセッション (30分)

- ・別のグループの提案を聞き、聞いている人より付箋でコメントをもらう。



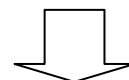
(4) テーブルワーク (60分)

- ・自分たちの提案に対してのコメントを紐ときブラシアップさせる
- ・僕はこの場所をこのように使いたいな〜という目線を常にもって調整
- ・まとめ



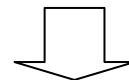
(5) 最終プレゼン (20分)

- ・この場所をこう使いたいというコンテンツを提案
- ・一人3個シールをもって良いと思う企画にシールを貼っていく



(6) アンケート記入 (15分)

- ・アンケート、わたしの思い記入



(7) まとめ (5分)

- ・下川先生